

一月五日

1180

第 一 〇 四 號 第 一

極秘

陸軍機密第三十八

臨參密第一〇四號第一

支那駐屯軍トナルヘキ諸部隊ノ北支那派遣
及現北支那派遣部隊ノ一部歸還ニ關スル命
令傳宣濟ノ件

昭和十一年四月二十日 參謀總長 飯 仁 親

陸軍大臣 伯爵 寺 内 壽 一 殿

首題ノ件ニ關スル別紙命令傳宣濟ニ付通牒ス

昭和十一年四月二十日
陸軍大臣

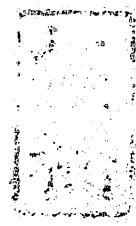
昭和十一年四月二十日
陸軍大臣

陸軍省
昭和十一年四月二十三日
第二十八號
參謀課

陸軍省
昭和十一年四月二十日
防備課

日本標準規格 B-5

寫



臨參命第五十號

命令

一左ノ部隊ヲ北支那ニ派遣シ若ハ内地ニ歸

還セシム

派遣部隊

第一師團ヨリ

支那駐屯戰車隊

支那駐屯騎兵隊

第三師團ヨリ

支那駐屯砲兵聯隊本部及

第二大隊

0812

0813

可及

歸

0813

支那
三比部
命
す
又

第五師團ヨリ

支那駐屯歩兵旅團司令部

支那駐屯歩兵第一聯隊第一

大隊本部及第一機關銃中隊

第六師團ヨリ

支那駐屯歩兵第二聯隊第一

機關銃中隊

第七師團ヨリ

支那駐屯歩兵第二聯隊第九中

隊 第三機關銃中隊及歩

兵砲隊

第八師團ヨリ

支那駐屯歩兵第一聯隊第三

大隊及歩兵砲隊

第十師團ヨリ

支那駐屯歩兵第一聯隊第三

中隊及第二大隊

支那駐屯砲兵聯隊第一大隊

(第中隊欠)

支那駐屯工兵隊

第十四師團ヨリ

支那駐屯歩兵第三聯隊第三

中隊及第二大隊(本部欠)

歸還部隊

天津駐屯歩兵隊第三乃至第六中隊

天津駐屯工兵第一小隊

昭和十年六月第四
師團ヨリ派遣セルヲ

二第一第三第五第六第七第八第十及第十四
師團長ハ夫々前項ノ部隊ヲシテ五月上旬
以降各々其編成地ヲ出發セシムヘシ

三支那駐屯軍司令官ハ前項ノ部隊ノ到
著ニ伴ヒ第一項ノ歸還部隊ヲシテ逐次
各々其衛戍地ニ歸還セシムヘシ

四前諸項ノ部隊北支那到着(北支那出
發)ノ時ヲ以テ支那駐屯軍司令官ノ隸
下ニ入ル(隸下ヲ脱スル)モノトス

五細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示

セシム

昭和十一年四月十八日

奉勅傳宣

參謀總長載仁親王

第一師團長

河村恭輔殿

第三師團長

伊東政喜殿

第四師團長

建川美次殿

第五師團長

林桂殿

五月十日

第六師團長 谷 壽夫 殿
 第七師團長 三毛 一夫 殿
 第八師團長 下元 熊彌 殿
 第十師團長 松浦 淳六郎 殿
 第十四師團長 末松 茂治 殿
 支那駐屯軍司令官 多田 駿 殿